

作曲家のエピソードを交え、音楽の仕組みを分かりやすく解き明かす  
愉しく、学べるコンサート

高橋 舞トークコンサートは3回シリーズのコンサートです。  
1回ごとに異なる作曲家の作品を取り上げて、巨匠たちの作曲の秘密に迫ります。

第1回 2011年9月8日(木)

バッハ インヴェンション 第1番 ハ長調 BWV772、インヴェンション 第6番 ホ長調 BWV777  
シンフォニア 第10番 ト短調 BWV796

リスト 愛の夢第3番 変イ長調 S.298

シューベルト 即興曲集 Op.90 D.899 第1曲 ハ短調、第2曲 変ホ長調、第3曲 変ト長調、第4曲 変イ長調

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

## 高橋 舞 piano & talk

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツァルトウム音楽大学大学院修士課程ピアノ演奏科修了、「マギスター・デア・キュンステ」の称号を得る。バッハに関する修士論文は最高の評価を獲得。ウィーン国立音楽大学にてチェンバロをインゴマー・ライナー氏に師事。ザルツブルク・スタインウェイ・ホールにてソロリサイタルを開催。イタリア、トリエステにおけるステファノ・マリツァ国際ピアノコンクール第2位入賞。入賞者演奏会の模様はイタリアにてテレビ放映される。2006年のモーツァルト・イヤールにはザルツブルガー・ゾリステンとモーツァルトのピアノ協奏曲第12番 K.414 を共演。ザルツブルクのミラベル宮殿マルモア・ザールにてイェルク・デームス氏と共演する。フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。銀座王子ホールでのピアノ・リサイタルを皮切りに、ソロ・室内楽・歌曲伴奏の分野で活動。王子ホールでのリサイタルは、「ムジカノーヴァ」、「音楽現代」にて好評を得る。これまでにイタリア、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチアにおいて演奏会を行う。ライフワークとしてテーマを持ったレクチャー・コンサートを行い、毎回評判を呼ぶ。これまでにすぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業として2008年には作曲家シリーズ第1回「音楽と映像でたどるシューベルト～シューベルトの手紙とともに味わう歌曲・ピアノ曲の世界～」を、2009年に第2回「生誕200年記念メンデルスゾーン 飛翔するロマン～メンデルスゾーン姉弟、歌そして無言歌に込められた想い～」、そして2010年には3回シリーズの「名曲で楽しむ！音楽史の旅～高橋 舞が紹介するクラシック音楽の名曲&作曲家たちの知られざるエピソード～」を開催し、好評を博す。2009年より桐朋教育研究所主催の桐朋講座にて「広がるクラシック音楽の世界 “キーワードから読み解くクラシック”」の講師を務める。2010年には「今日からあなたもクラシック・ファン “クラシック音楽選りすぐり10選”」も開設。幅広い知識を活かして「豊かなクラシック音楽」の世界を発信する、今注目のピアニスト。公式サイト <http://mai-takahashi.com/>



第2回は2011年11月9日(水)、第3回は2012年1月24日(火)を予定しています。